



広 報 資 料

平成29年10月11日
午前11時00分発表

問い合わせ先
第一管区海上保安本部
広報・地域連携室長 両角 孝志
TEL 0134-27-0118 (内線2111)

日露合同訓練の実施について

第一管区海上保安本部では、ロシア連邦保安庁国境警備局との連携・協力関係の強化を目的として、平成29年10月18日（水）に当本部代表団がロシア連邦サハリン州を訪問し、アニワ湾において日露合同訓練を実施します。

1 訓練日時・場所

平成29年10月18日（水）午前11時～午後12時（現地時間）
ロシア連邦サハリン州アニワ湾

2 訓練参加勢力（別紙1のとおり）

（1）海上保安庁 第一管区海上保安本部

- ・総合指揮官 本部長 岩崎 俊一
- ・巡視船 函館海上保安部所属巡視船つがる（船長 山本 裕二）
- ・航空機 巡視船つがる搭載機（回転翼航空機）

（2）ロシア連邦保安庁 サハリン州国境警備局

- ・総合指揮官 局長 クドリャシヨフ・セルゲイ・ヴァシーリエヴィチ
- ・警備艦等 5隻
- ・航空機 1機（回転翼航空機）

3 訓練概要（別紙2のとおり）

- （1）密輸・密航容疑船に対する日露海上保安機関が連携した海上法執行訓練
- （2）火災船消火及び人命救助訓練

4 経緯

日露海上保安機関では、平成12年に「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」（別紙3のとおり）が署名され、これに基づき、ほぼ毎年交互にそれぞれの船艇が相互訪問し、日露合同訓練を実施しており、今回は昨年6月、小樽港沖合海域において実施した第一管区海上保安本部とサハリン州国境警備局との合同訓練に引き続いて実施するものです。

なお、当管区からの派遣は今回で8回目となります。

5 巡視船つがる行動予定

10月16日（月）午後12時～ 巡視船つがる出港
（於：小樽港第2ふ頭8号岸壁）
21日（土）午前10時～ 巡視船つがる入港
（於：小樽港第2ふ頭8号岸壁）

6 関連行事

別紙4のとおり

平成29年度日露合同訓練参加船艇航空機一覧

日本側



PLH02 つがる
所属: 第一管区海上保安本部
函館海上保安部
総トン数: 3100トン



シコルスキー76D
所属: 第一管区海上保安本部
函館海上保安部つがる搭載機
愛称: はいたか

ロシア側



警備艦コーラル(訓練指揮官乗船)
総トン数: 630トン



警備艦コルサコフ
総トン数: 375トン



警備艦ディアナ
総トン数: 750トン



Mi-8型回転翼機

その他、小型船艇2隻参加

平成29年度 日露合同訓練訓練(イメージ)



視閲船(ロシア警備艦)

☆1. 密輸・密航容疑船捕捉訓練

容疑船搜索等
(日本側巡視船、航空機)



追跡、停船措置等
(ロシア側船艇、航空機)



縦列航行

☆2. 海難救助訓練

火災船消火
海中転落者救助



共同救助作業



☆3. フェアウェル

「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」について

1. 経緯

平成12年9月、隣国であるロシアにおいて海上における警備を担当しているロシア国境警備庁（現ロシア連邦保安庁国境警備局）との協力関係を強化するため、東京において、海上保安庁長官とロシア連邦国境警備庁長官との間で、「日本国海上保安庁とロシア連邦国境警備庁との間の協力の発展の基盤に関する覚書」に署名した。

2. 主な内容

- (1) 薬物・銃器の不法取引の取締り、密航の防止、不審船対策、海洋環境汚染の取締り及び汚染防止等の分野における情報交換
- (2) 本庁、管区及び現場レベルでの協議及び会合の実施
- (3) 専門家の相互派遣
- (4) 船艇の相互訪問及び合同訓練の実施

日露合同訓練等における関連行事

月日	行事名	時間	実施場所
10月16日(月)	出港式	11時30分から 12時00分	小樽港中央ふ頭3番岸壁
10月17日(火)	入港歓迎式典	11時00分から 11時30分	コルサコフ港
10月18日(水)	合同訓練	11時00分から 12時00分	アニワ湾
10月19日(木)	巡視船つがる及びロシア警備艇一般公開	09時30分から 11時30分	コルサコフ港
10月20日(金)	訪問終了式典	14時00分から 14時30分	コルサコフ港
10月21日(土)	入港式	10時10分から 10時20分	小樽港第2ふ頭10番岸壁

17日(火)～20日(金)の間はサハリン時間(日本時間+2時間)

なお、取材の案内等については、広報・地域連携室から別途連絡します。